

研究課題名	患者自己調節鎮痛法（経静脈と経硬膜外）および神経ブロックによる鎮痛効果および合併症の検討
研究期間	2025年 12月 1日 ~ 2031年 3月 31日
研究の対象	2010年4月1日から2030年3月31日の間に、広島大学病院で術後鎮痛として経硬膜外患者自己調節鎮痛法もしくは経静脈患者自己調節鎮痛法、神経ブロックを受けた患者さん
研究の目的・方法	<p>研究目的：自施設の術後鎮痛管理について検討し見直すことが本研究の目的です。</p> <p>研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、術後慈子調節鎮痛法(経静脈と経硬膜外)および神経ブロックによる鎮痛効果および合併症について検討します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：身長、体重、性別、術後の痛みの程度、血液検査（手術の前後に必要に応じて行われている検査の検査値）、PCAの合併症（吐気、眠気、呼吸抑制、せん妄）手術時間、術後の入院期間などです。</p> <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p> <p>試料・情報の管理責任者：広島大学病院手術部 講師 三好 寛二</p>
利用または提供を開始する予定日	2025年12月1日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
その他	ありません
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p>

広島大学病院 手術部  
担当者：講師 三好 寛二  
〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3  
電話番号：082-257-5267